

こんにちは！日本共産党京都市会議員 玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2025年9月①号

～夏は平和と学び～

9月に入りましたが残暑が厳しいですね。この夏は**戦後80年**という節目の年ということで、原爆展や戦争展、平和の映画会など参加してきました。

そして、夏は所属の市議会の委員会と共産党の議員団として、他の自治体の優れた取組に調査に行き学ぶ取組をしています。

議員団の調査では**温暖化防止対策**として、**千葉・匝瑳（そ）市**で小さな企業が太陽光の自然エネルギーを活用した**メガソーラーシェアリング発電所**を視察。農地に降り注ぐ太陽の光の3分の1を発電に用いながら、有機農法で大豆・大麦などを栽培。その規模に圧倒されました。現在23%で実践中。長年の耕作放棄地を引き受け、農業法人は売電収入を原資とした委託費と農産物による二つの収益で担い手も確保。莫大な初期投資は、城南信金の融資が決まって以降、他の金融機関も積極的に変化。太陽光発電が地域社会と農業を豊かに育てることを実感した。

大災害時には電力を市民に提供するという協定を匝瑳市と結び、地域貢献をしていられました。実際台風の影響で停電した際、その威力を発揮し、喜ばれたとのこと。現在は海外にも事業を展開し始めておられます。温暖化への危機感で取り組む姿勢は大いに学びとなりました。京都市内でも京都市が支援

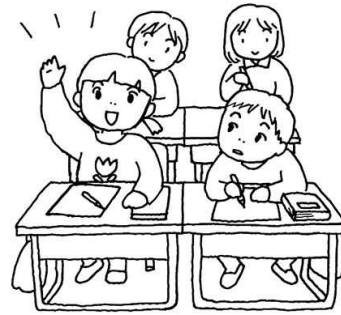
して取り組めると
思います。



千葉県匝瑳市のメガソーラーをバックに調査する議員団メンバー

温暖化で学校が大変

熱中症アラートが出ると、運動場では授業や遊びはできません。さらに学校教室のクーラーの設置は、およそ20年前。現在、故障や不具合が起きている。残暑厳しい中、教室のクーラーのトラブルで、クーラーの効く特別教室などに移動して授業を受けて対応したり、プールの授業では、水温30度以上になったり、気温と水温の合計が60度になれば、中止になります。



(9月はプールの授業はないが、) 2, 3時間目以降はその傾向が高くなり、プールの授業に多大な影響が出ています。熱中症になると命に関わる問題であり、故障や不具合が起きているクーラーは早急に修理をしなくてはなりません。教育委員会に調査と早急の改善を求めています。

つぶやき：市民・事業者の命・暮らしを守るため市長に対し「賃上げ」、「物価・酷暑対策」の2つの緊急申し入れ

日本共産党京都市議団では8月21日、「最低賃金を早急に全国一律1, 500円以上に引き上げ、中小企業への直接支援制度の創設を求める申し入れ」を行いました。63円の賃上げを支える中小企業支援、物価に負けないさらなる賃上げが必要です。



25日には「酷暑と物価高騰から市民の生命を守るための緊急申し入れ」を行いました。



助産院にパパとお姉ちゃんが面会に来た一場面

孫の誕生とこれから
前回のニュースのアンテナ記事は「孫の入院」がタイトルでしたが、今回は引き続き孫バースジョンで、孫誕生です。8月27日に、次女が第2子を出産しました。なんと、第一子に瓜二つで、びっくりです。流産や不育症傾向など、苦勞しての妊娠出産だったので、無事に産まれてくれてほっとしています。妊娠し出産、そして子育ては、今ほんとに大変です。
保育園に子どもの送迎をしている方々に出会って「頑張っ！」といつも、心の中でエールを送っています。しかし、私は政治家です。子育てしやすい働き方や、学校環境を良くすること、子どもの笑顔がいっぱいの社会を作るために、政治の力で、社会を良くしていくための仕事ができるし、やらなければならぬ！
住民の皆さんの運動や声と共に、子ども達の未来のために頑張ろうと、決意しています。



